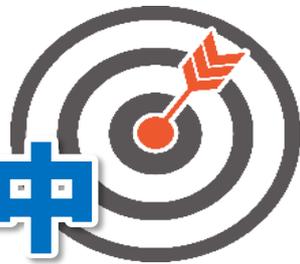


# 2026 ズバリ! 的中



# 世界史

## 北海道大学

### ハギア=ソフィア聖堂のモスクへの転用を説明する問題がズバリ的中

#### 入試問題

総合入試(文系)、学部入試(文)  
大問2 問3 (イ)

2 次の文章を読み、問いに答えなさい。

オスマン朝は13世紀末にアナトリア(小アジア)の西北で勃興し、アナトリアと **A** 半島を中心に、ヨーロッパ・中東・アフリカにまたがる大帝国へと拡大した。

オスマン朝が地中海進出の足掛かりを得たのは、1453年に **ビザンツ帝国の首都** **B** を征服したことによる。当時のオスマン朝君主が「二つの海のスルタン」と自称したように、**B** は黒海と地中海の結節点に位置しており、このためオスマン朝は二つの海をつなぐ海上交通の支配が可能になった。

次いで、**C** の治世下の1517年にマムルーク朝を滅ぼすと、オスマン朝の支配領域は東地中海方面に大きく拡大する。それまでマムルーク朝の領土であったエジプトやシリアが新たにオスマン領に編入された。エジプトやシリアは東西交易ルート上に位置する重要な地域であり続け、オスマン朝下においても同様であった。また、スレイマン1世は帝国の東西で勢力圏の拡大をおこなった。

1571年に **D** でオスマン朝はスペインやヴェネツィアなどの連合国軍に敗北するも、1574年に北アフリカの一部をスペインから奪い、しばらくの小康期間を経て1669年には地中海航路の要衝であったクレタ島を征服した。これをもってオスマン朝は最大版図を実現した。

問3 下線部(2)について、(ア)この首都を征服したオスマン朝君主の名前を答えなさい。また(イ)征服後にオスマン朝が、この首都にあったビザンツ帝国期の宗教建造物に対しておこなった事業を、その建造物の名称に言及しつつ説明しなさい。

#### 河合塾

北大入試オープン  
2・4ページ 大問1 問5 (ウ)

1 次の文章を読み、問いに答えなさい。

大規模な浴場は、古くはインダス文明の遺跡にみることができるが、これは宗教的性格の強いものであった。

古代ギリシアでは、パライオオンという簡易な公衆浴場が存在し、やがて運動施設に浴場が付設されるようになった。このギリシア人の入浴習慣をとり入れつつ、独自の浴場文化を築いたのが、古代ローマである。パライオオンに由来する小規模な浴場のみならず、帝政期には、テルマエとよばれる大規模な公衆浴場が皇帝や有力者によって建設され、図書館や運動場などが併設されることもあった。自由人であれば身分や貧富を問わず誰にでも開かれ、人々の娯楽や社交の場としての役割も果たした。しかし、3世紀以降、都市経済の衰退によって浴場経営が困難になったこと、4世紀に公認・国教化されたキリスト教が風紀の乱れの温床として公衆浴場に批判的であったことなどから、ローマの浴場文化は廃れていった。とくに帝国西方では、ゲルマン人の大移動で混乱するなか、水道の破壊によって機能を失った浴場が、その後、修道院などに転用されることもあった。

一方、ビザンツ帝国(東ローマ帝国)では公衆浴場の文化が維持され、ビザンツ帝国から領土を奪ったイスラーム世界に継承された。イスラーム世界の公衆浴場はハンマームとよばれ、モスク・マドラサ・市場などとともにイスラーム都市に不可欠な施設であった。ハディースのなかに「清潔さは信仰の半分である」とあるように、ムスリムにとって入浴は、信仰と結びついた行為だが、浴場が娯楽・社交の中心でもあったことは、ローマと同様である。イスラーム世界の拡大とともに、浴場文化も広がり、たとえば、ハンガリーは16世紀にオスマン帝国の支配下に入ると、浴場の建設がさかんになって入浴の習慣が定着していった。

日本では、沐浴の功徳を説く仏教の伝来にもなって寺院に浴場が設けられ、鎌倉時代以降は銭湯があらわれた。日本の浴場文化については、16世紀に日本を訪れたポルトガル人のイエズス会宣教師ルイス・フロイスが記録している。

問5 下線部(5)について、(ア)ビザンツ帝国(東ローマ帝国)からエジプト・シリアを奪った第2代正統カリフの名前を答えなさい。(イ)キリスト教異端とされた単性論が広まり、ビザンツ帝国からしばしば弾圧されていたエジプト・シリアは、比較的すんでイスラーム教徒の支配を受け入れたとされる。その理由として考えられることを、イスラーム世界における異教徒の扱いという側面から説明しなさい。また、次の図は、オスマン帝国の支配下でモスクに転用された建造物だが、それ以前はビザンツ帝国の都に建てられたキリスト教の大型堂であった。図面にみられる、キリスト教建築の特徴およびモスクに転用されたことを示す根拠を説明しなさい。



図